

東通1号機に関わる安全性向上と再稼働に向けた取り組みについて

■当社は、東通1号機について、新規制基準適合性審査への対応や安全対策工事に取り組んでおります。

■今後とも、新規制基準への適合性とどまらず、さらなる安全レベルの向上を着実に進め、地域の皆さまからのご理解を得ながら、準備が整った段階での再稼働を目指してまいります。

< 適合性審査の状況 >

①地震・津波の審査

- ・これまでの審査により、発電所敷地内および敷地周辺の断層の活動性について「概ね妥当な検討がなされている」と評価されており、断層評価に関する審査は一通り終了
- ・現在、基準地震動の策定に向け、「震源を特定して策定する地震動」に関する審査と、基準津波の審査に対応中

②プラント（設備）の審査

- ・先行プラントの審査動向や女川2号機での審査実績を参考に、審査が効率的に進捗するよう準備中

< 安全対策工事の状況 >

- ・これまでに、電源車や注水車、代替非常用冷却系海水ポンプ等の配備を完了しているとともに、海拔約16mの防潮堤を設置
- ・現在、審査の中で得られた知見・評価等を反映しながら、フィルタベント設備、緊急時対策所の設置工事や耐震工事を実施中

